



Mitake
Sayaka
Salon

123
Mitake Sayaka Salon (vol.35)



絶対^レに聴きたい
ヴィオラとピアノ、至高の名曲——

安達真理 & 入江一雄

(ヴィオラ)
(ピアノ)

デュオリサイタル

Viola × Piano

2019年

7月6日(土)

開場17:30/開演18:00 入場料:会員3,500円/
一般4,000円/学生2,000円(全席自由席)

<プログラム>

ヴェータン：カプリッチョ

ブラームス：ヴィオラ・ソナタ第1番

ショスタコーヴィッチ：ヴィオラ・ソナタ

*プログラム等は、やむを得ない事情により変更になる場合がございます。



絶対に聴きたい ヴィオラとピアノ、至高の名曲—

安達真理 & 入江一雄

デュオリサイタル

2019年

7月6日(土)

開場17:30/開演18:00

入場料:会員3,500円/一般4,000円/
学生2,000円(全席自由席)

Mitake Sayaka Salon (vol.35)

ヴィオリスト安達真理の自由で端正な美音で紡ぐ、劇的かつ瞑想的な調べ。
冷静さに情熱を秘めたピアニスト入江一雄と夢の競演——



Photo: Sho Yamada



Photo: Tsuneo Ko

安達真理 (Mari Adachi) Viola

4歳よりヴァイオリンを始め、桐朋学園大学在学中にヴィオラに転向。卒業後、同大学研究生修了。ウィーン国立音楽大学室内楽科を経て、ローザンヌ高等音楽院修士課程(最高点)、ソリスト修士課程を修了。

霧島国際音楽祭にて特別奨励賞、大阪国際音楽コンクールアンサンブル部門第1位、ウィーン国立音楽大学国際夏期アカデミーコンクールにてソリスト賞受賞。

バンベルク交響楽団にて客演首席、インスブルック交響楽団にて副首席を務めたのち、2016年よりパヴェル・ヤルヴィ氏率いるエストニア・フェスティバル管弦楽団メンバー。

クァルテット・レストロ・アルモニコ、Ensemble FOVEなど、室内楽奏者としても精力的に活動している。

ソリストとして、バーデン=バーデン・フィルハーモニー、ローザンヌ室内管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団等と共演。

2018年に深沢亮子氏とCD『Winterreise』をリリース。東京オペラシティ文化財団主催「B→C」、ラ・フォルジュレネ・オ・ジャポンほか、テレビ朝日「題名のない音楽会」、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」などのメディア出演等、活躍の場を広げている。

オフィシャルサイト <http://www.mariadachi.com/>

入江一雄 (Kazuo Irie) Piano

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て同大学・同大学院を首席で卒業・修了。

第77回日本音楽コンクールピアノ部門第1位、第1回CWPM(ポルトガル)第5位入賞他、受賞多数。ソロ活動だけでなく国内主要オーケストラとの共演や室内楽の演奏機会も多い。近年ではN響コンサートマスター篠崎史紀氏から絶大な支持を受け、同氏リサイタルや室内楽公演で多くの共演機会を得ている。

2012-13年度公益財団法人ロームミュージックファンデーション・2015年度文化庁(新進芸術家海外研修制度)より助成を受け、チャイコフスキー記念ロシア国立モスクワ音楽院研究科に在籍し、名匠エリソ・ヴィルサラーゼに師事。

2016年夏に修了シディプロマ取得。2017年度より東京藝術大学にて教鞭をとる。王子ホールレジデンス「ステラ・トリオ」メンバー。

第5回あおによし音楽コンクール奈良にて、ゲスト審査員を務める。

twitter公式アカウント

<https://mobile.twitter.com/kazustin49>

ヴィオラの魅力は何かと問われると、最近では「共感力」とお答えすることが多い。

それは、ヴィオラの持つ音色そのものであったり、オーケストラや室内楽での役割からも感じることができ、名だたる作曲家たちが晩年に、また遺作としてヴィオラ作品を多く書いているという点からも言えると思う。

自分の人生を振り返り何かを遺そうとしたときに、ヴィオラの音色が彼らの心にぴったりと寄り添っていたとすれば、これ以上のヴィオラの魅力をお伝えする術はない。

演奏するブラームスのソナタ(もともとはクラリネットのために書かれ、自身でヴィオラ用に編曲している)は、作曲家人生にいったん終止符を打とうとしたあとの作品であり、ヴェーダンのカプリッチョ(無伴奏ヴィオラ作品)、ショスタコーヴィッチのソナタは遺作である。

今回初共演となる入江一雄さん。以前美竹清花さんでオール・プロコフィエフ・プログラムを聴かせていただき、その知的で透明感のあるクリアな音と、内に烈しさを秘めた演奏に魅せられた。ご一緒させていただくこの重厚プログラムでも、音楽に内包される作曲家たちの遺言に耳を傾け、その一言一言を共に一音一音に込めていけると確信している。(安達 真理)



大ホールのプラチナ席をしのごく
“美竹清花さんという楽器”の中で
味わう一期一会

世界に羽ばたく才能あふれる
トップアーティストが続々と集結。

日本のトップクラスの若手演奏家が、
こだわり抜いた価値ある企画をお届けしていきます。

美竹清花さんが追求する“本物の音楽”は、

演奏者と参加者とわたしたちの、

三位一体の努力と対話から生まれます。

誕生。
クラシック音楽サロン、
宮益坂、
渋谷駅 徒歩2分



●お問い合わせ

株式会社ILA(美竹清花さん)
東京都渋谷区渋谷1-12-8(〒150-0002)
☎03-6452-6711(平日9:00-18:00)
070-2168-8484(時間外可)
Fax03(3409)0188

